

新

消防庁舎 完成



新庁舎の主な特徴

- 大規模な震災後も機能を維持できる高い耐震性
- 市民の防災教育施設として地域に開かれた施設
- バリアフリー・ユニバーサルデザイン※の実践
- 華美な装飾を排除した質実剛健なデザイン
- 緊急時の迅速な出動が可能な施設構成
- 環境にやさしい省エネ・省資源型施設
- メンテナンス・ランニングコストの低減
- 1年未満の短工期に対応した施工性

※ユニバーサルデザイン 高齢であることや障がいの有無などにかかわらず、すべての人が快適に利用できるように製品や建造物、生活空間などをデザインすること

常陸大宮市は、「豊かな自然と調和した安心・快適な活力のまち」の実現を目指し、バランスのとれたまちづくりを進めています。

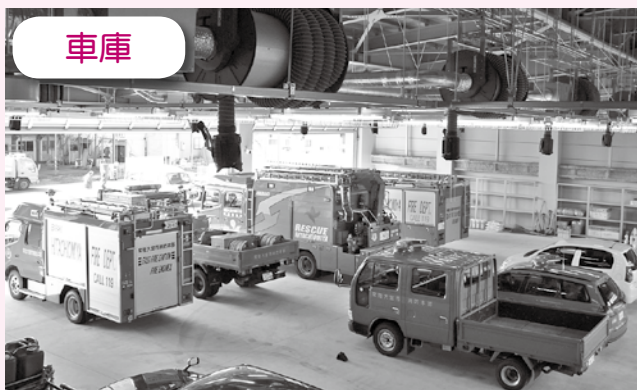
平成23年3月11日の東日本大震災で、消防庁舎が被災し、仮庁舎においてこれまで消防業務を行ってきました。

このほど、市民の安全・安心を確保する災害対応の拠点としての新庁舎が完成し、3月27日、関係者出席のもと竣工式が執り行われました。記念式典（テープカット）の後、竣工式典では工事関係者の方々に感謝状が贈られました。



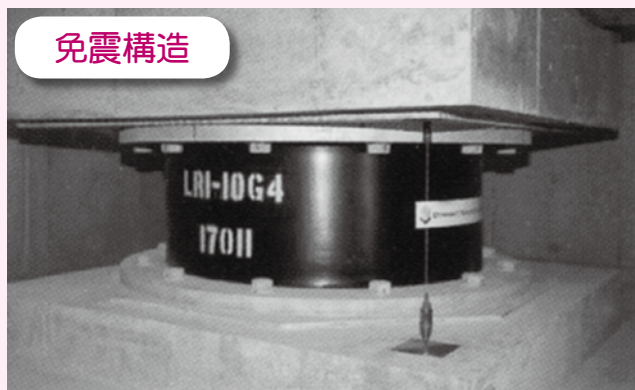
▲記念式典（テープカット）の様子

車庫



▲迅速な出動が可能な2列縦隊とし、車両の間隔は広めに確保してあります

免震構造



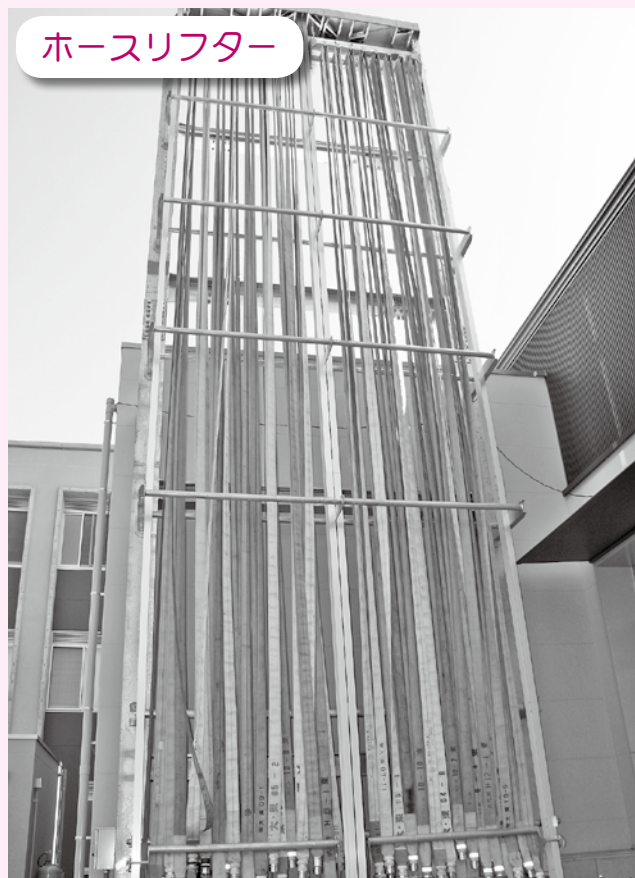
▲上部構造の受ける地震力を軽減する免震構造

通信指令室



▲市内で発生した火災、救助、救急の119番通報を受信し、消防隊や救助隊、救急隊へ出動指令を行います

ホースリフター



▲火災で使用したホースを乾かします

多目的室



▲AV機器を備え、市民へのセミナーなども開催できる多目的室を設けました

警防更衣・仮眠室



本部事務室



～今後も市民の皆さんの安全確保と消防防災の充実に努めていきます～

■問い合わせ■ 消防本部 総務課 ☎54-0119